

すっかり変わった日本経済を 基本的な経済学で紐といてみよう

～デフレ経済に経済学は答えられるのか～



講師: ^{ねぎし}根岸 ^{しん}紳

関西学院大学経済学部 教授

(専門:生産性、景気、ロボット)

神戸垂水生まれ。垂水東中学、長田高校卒業。1971年3月関西学院大学経済学部卒業後、同大学院経済学研究科博士課程を経て、助手、専任講師、助教授、教授。専攻は経済統計学、計量経済学。また、入試部長、経済学部長を経て現在体育会会長。1995年度1年間オーストラリア・モナッシュ大学客員研究員。著書は『技術進歩の計量分析』(有斐閣)、『生産性向上と雇用問題』(関西学院大学出版会、共著)、『関西経済の構造と景気指数』(日本評論社、近刊、編著)など。趣味は落語を聴くこと。

日本経済を1960年代、70年代、80年代の30年間と1990年代、2000年代の20年間を比べると、ずいぶんその姿が変わった。インフレ時代からデフレ時代に、非正規雇用者が増加し、製造業中心から製造業、サービス業が経済の両輪になってきた。いいモノやサービスを作り、利益を出していくためには労働生産性の向上が大切になってきている。しかし、労働生産性の向上は雇用者を減らすことによって実現するし、他方、労働生産性の向上はコストを引き下げて企業の利益にもつながるので、利益が出れば雇用を増やすことも考えられる。労働生産性を向上させながら雇用も増やすことができるのだろうか。

■日時: 2012年3月8日(木) 14:00～15:30(受付開始13:30～)

■場所: 関西学院大学大阪梅田キャンパス 1405教室
(〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アブローズタワー14F)

■定員: 80名(先着順) ※座席に限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

■お申し込み方法: ホームページもしくはFAXにてお申し込みください。
受付が完了次第、事務局よりお申込番号をお送りいたします。

■ホームページからのお申込方法

大阪梅田キャンパスHP (http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/)「講座・講演会(梅田講演会)」ページへアクセスいただき、申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。

■FAXでのお申込方法

氏名、ふりがな、〒・住所、TEL・FAX、E-mailアドレス、卒業生の方は卒業年・学部、3月8日梅田講演会申込希望と明記の上、大阪梅田キャンパス宛 (FAX:06-6485-5612)にお申し込みください。

■お問合せ先: 関西学院大学大阪梅田キャンパス事務局

TEL:06-6485-5611 E-mail: kghub@kwansei.ac.jp

【主催】関西学院同窓会西日本センター、関西学院大学大阪梅田キャンパス



【個人情報の取り扱いについて】

講演会お申し込みにあたり、お知らせいただいた個人情報は、来場者の統計的分析や今後関西学院大学大阪梅田キャンパスからのお知らせをお送りする際にのみ利用いたします。もし、こちらからのお知らせが御不要な方はその旨御連絡下さい。